

受検番号

総合問題 I 【1枚目】

- * 答えは、全て、解答用紙の決められた欄に書き入れなさい。
- * 与えられたいくつかの事項のうちから答えを選ぶ場合は、記号で書きなさい。
- 注意 * 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
- * 英語は、活字体または筆記体で書きなさい。
- * 問題用紙は4枚、解答用紙は2枚あります。

1 次の英文は、ミキ (Miki) さんが英語の授業で行った発表の内容です。これを読んで、後の1から5までの各問いに答えなさい。

【ミキさんの発表】

Two days ago my father made too much curry for dinner, so some curry was left. Everyone in my family didn't know what to do about it. Yesterday my grandmother came to my house. ① [] She used the curry to make some croquettes. They were so good. My grandmother often says, "Throwing away food which we can eat is *mottainai*. We must not forget to be thankful for our food."

Last night I checked how much food was thrown away in Japan on the Internet. I was surprised to find that we threw away about six million tons of food that we could still eat in 2013. Half of it came from our homes. Reducing this kind of waste from our homes will make a big difference.

Around the world, there are a lot of people who don't have enough food to eat. In 2014, about three million tons of food was given to save them. That was as much as ② [] in Japan in 2013. Can you believe that?

How can we stop throwing away so much food at home? I think there are two things we can try. First, we should use all the food we have before it goes bad. For example, we can reuse the food we didn't eat, like my grandmother. Second, we should buy only the food we need. If we buy too much food, we may not be able to use all of it.

Ms. Wangari Maathai, a Nobel Prize winner from Africa, visited the United Nations to speak in 2005. She introduced the Japanese word *mottainai* in her speech. She said *mottainai* was a wonderful part of Japanese culture. Some of us have forgotten the idea of the word. Japanese people should keep the word *mottainai* in their minds.

I think throwing away food is really *mottainai*. My family will check how much food we have before going shopping, and after shopping we will try to use all the food we buy and the food we already have. If we do these two things, we won't throw away so much food.

- (注) left : leave (残す) の過去分詞形 croquette(s) : コロッケ
throwing away : throw away (捨てる) の ing 形 *mottainai* : もったいない
be thankful for : ~に感謝する ton(s) : トン (重さの単位)
reducing : reduce (減らす) の ing 形 go(es) bad : 悪くなる
Wangari Maathai : ワンガリ・マータイ (ケニア出身の環境保護活動家)
Nobel Prize winner : ノーベル賞受賞者 the United Nations : 国際連合
introduced : introduce (紹介する) の過去形

- 1 ① [] には、「彼女は料理が上手です。」という内容が述べられています。
[] に入る適当な英語を書きなさい。
- 2 ② [] の中には、どのような内容が入りますか。最も適切なものを次のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア the food eaten in our homes
- イ the food thrown away from our homes
- ウ the food made for our homes
- エ the food needed in our homes

- 3 次の質問に、英語で答えなさい。
What will Miki's family do before they buy food to stop throwing away food in their home?
- 4 本文の内容に合っているものを、次のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア Miki thinks we give too much food to the people who don't have enough food.
- イ Miki thinks we have to eat even the dishes we don't like.
- ウ Miki was surprised to find that we threw away so much food in Japan.
- エ Miki was surprised to learn that we forgot the word *mottainai*.

- 5 ミキさんの発表の後、先生から次の質問がありました。あなたなら、先生の質問にどのように答えますか。() に適当な英語を書きなさい。

【先生の質問】

Miki thinks that throwing away food is *mottainai*. Throwing away food is one example of *mottainai*. What example can you give me in your life and what can you do about it? Your example and Miki's have to be different.

→ () is *mottainai*.
We ().

受検番号

総合問題 I 【2枚目】

2 資料1は、工学者の月尾嘉男さんが中高生に向けて語った内容の一部です。資料2は、ゆうた（Yuta）さんが、職業について、ヒルさん（Ms. Hill）にインタビューした際の会話です。資料1と資料2を読んで、後の1から5までの各問いに答えなさい。

資料1

アメリカインディアンのナヴァホ族の女性にインタビューしたとき、「何かしようとするときは、7世代先の子孫にとっていいことかどうかを考えてから実行する」という言葉を教えられました。たとえば道路を通したり建物を建てるときも、それがいいことかどうか、およそ200年後の子孫にたずねよというわけです。

彼らの居住区からコロラド川を挟んだ対岸には、砂漠に造られた人工都市ラスベガスがあります。緑がA豊かに茂り、24時間照明が輝いています。これを支えるのが、フーバーダムとそれによって出現した琵琶湖の1.4倍もの水量を誇る人造湖ミード湖です。これによって、ラスベガスでは水を贅沢に使っているのです。

一方、対岸に暮らすナヴァホ族はいまでも木枠で土を固めた家に住み、痩せた土地にB細々とトウモロコシを作付けしています。コロラド川から水を引いてくれば、豊かな生活ができますが、彼らは、それが将来の子孫にとっていいことかわからないから実行しないというのです。

これまで人間は、未来予測（フォアキャスト）をしてきました。しかし最近になり、バックキャストと呼ばれる彼らのような考え方の利点が見直されています。

空いた土地があるとします。フォアキャストの発想では、建物を建て、こうなるはずだ、と考えます。そこで具合の悪いことが出てきたら、その時点で計画を変更します。

Cいわば、行き当たりばったりです。

バックキャストの発想は違います。まずその土地の200年後の姿を考えます。そこから逆算して50年前にはどうあるべきか、100年前にはどうあるべきかを考える。そして、いまやるべきことを導き出すのです。

100年後には最大6.8度も気温が上昇するかもしれないといわれている地球温暖化対策に、バックキャストの考え方が取り入れられています。100年後の気温上昇をDせめて2度に押さえたい、ならば2075年には二酸化炭素排出量はどうするべきか、2050年にはどうかと遡って、いま取り組むべき行動計画を策定するのです。

（月尾 嘉男 『先住民族に未来を学ぶ』による。）

（注）ナヴァホ族＝アメリカ合衆国南西部に住む先住民族
コロラド川＝ロッキー山脈が水源で、南西に流れてカリフォルニア湾に注ぐ川

資料2

Yuta: Ms. Hill, I have a question about your job. Why did you want to be an interpreter?
Ms. Hill: Because my father worked as an interpreter, and I wanted to be like him. When I was a junior high school student, the President of America came to Japan and my father worked as his interpreter. I was very proud when I saw him on the TV news. At that time, I decided to be an interpreter.
Yuta: How old were you?
Ms. Hill: I was fifteen. I told my father about my dream and asked him how to be an interpreter. He told me three things I should do. First, I should study Japanese very hard. Second, I should learn about the Japanese culture. Third, I should study subjects such as politics, economy, and history about Japan. After listening to him, I made my plan to reach my goal.
Yuta: []
Ms. Hill: My father started his job at thirty, and so, my goal was to start working as an interpreter at the same age. To do that, I made a plan about what to do at each age.
Yuta: So you decided what you should do at each age. Could you tell me some examples?
Ms. Hill: Sure. I decided to pass the Japanese proficiency test for interpreters before becoming twenty-eight. I thought the best way to pass the test was to enter a Japanese college and study Japanese language, politics, economy, and history about Japan before becoming nineteen. I also thought, through those experiences, I could get chances to learn about Japanese culture. So, to enter a Japanese college, I thought it was the best to study very hard in high school in America. I decided this when I was fifteen. Finally, I followed the plan I made, and I got my first job at thirty.
Yuta: Wow! That's great. So, first you thought about yourself in the future, and then you made a plan to reach your goal.
Ms. Hill: Yes, I did. I believe that is a good way to reach a goal.
Yuta: I see.
Ms. Hill: So, Yuta, what is your goal?
Yuta: Well, I am interested in working for the United Nations to help poor people in the world.
Ms. Hill: That's good. Are you doing something to realize that?
Yuta: Now I'm studying very hard to go to a high school, but I haven't had any plans yet.
Ms. Hill: I really hope my story can help you with thinking about your future.
Yuta: After hearing your story, I think I have to make my own plan about what to do at each age because I feel it will be one of the best ways to reach my goal.

（注） interpreter : 通訳 President : 大統領 politics : 政治 economy : 経済
pass : 合格する Japanese proficiency test : 日本語の能力試験
followed : follow (従う) の過去形 the United Nations : 国際連合
realize : 実現する

受検番号

総合問題Ⅰ 【3枚目】

- 1 資料1の波線部AからDまでの中から、品詞の異なるものを1つ選び、記号で答えなさい。
- 2 資料1の説明として最も適切なものを、次のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 200年後の子孫を守るためには、地球温暖化対策にフォアキャストの考え方を適用すべきであると述べている。
- イ フォアキャストの考え方とバックキャストの考え方を紹介し、砂漠にラスベガスが造られた経緯を説明している。
- ウ バックキャストの考え方について、フォアキャストの考え方と比較し、いくつかの例を示しながら説明している。
- エ 地球温暖化対策を例にあげ、フォアキャストとバックキャストの両方の考え方についてその利点を説明している。
- 3 資料2の [] に入る適当な英語を5語以上で書きなさい。
- 4 資料1の下線部「まずその土地の200年後の姿を考えます」とあるが、資料2のゆうたさんにとって、これはどのようなことにあたるか。日本語で、30字以内で書きなさい。
- 5 資料2でヒルさんが自分の職業について話したことは、資料1の「フォアキャストの発想」と「バックキャストの発想」のどちらと関連しているか。関連している方を○で囲み、その理由を100字以内で書きなさい。

3 次の①から⑤までの文中の下線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直して書きなさい。

- ①友人を励ます。 ②品物を倉庫に保管する。 ③心から歓迎する。
④エイセイ放送を受信する。 ⑤キンロウ感謝の日。

受検番号

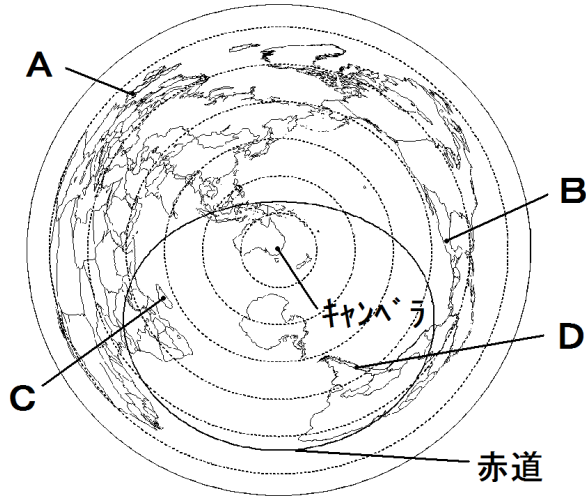
総合問題Ⅰ【4枚目】

4 花子さんたちの班は、社会科の授業で世界の様々な地域の中から、「オーストラリア」について調査することにし、**略年表**、**略地図**、**資料1**から**資料5**を集めました。これらについて、後の1から5までの各問いに答えなさい。

略年表 オーストラリアに関するおもなできごと

1788年	イギリス人が東海岸に植民地をひらく・・・①
1929年	世界恐慌がおこる・・・②
1932年	イギリスと関税や貿易に関する協定を結ぶ
1945年	国際連合に加盟する
1952年	西部で鉄鉱石の鉱山が発見される
1957年	日本と通商協定を結ぶ・・・③
1973年	イギリスがE Cに加盟する
1989年	オーストラリアの提唱でA P E Cが発足する
2000年	シドニーオリンピックが開催される

略地図 中心からの距離と方位が正しい地図



※キャンベラを中心とした同心円の間隔は3,000kmごとである。

資料1 イギリスの貿易額に占める植民地などその他の外国の割合

年	輸出 %		輸入 %	
	植民地など	その他の外国	植民地など	その他の外国
1929年	44.5	55.5	29.4	70.6
1934年	46.9	53.1	37.1	62.9
1938年	49.9	50.1	40.4	59.6

〔「両大戦間イギリス経済史の研究」より作成〕

資料2 オーストラリアの貿易額に占めるイギリスの割合

年	輸出 %	輸入 %
1929年	36.8	39.7
1934年	51.8	42.5
1938年	54.8	41.5

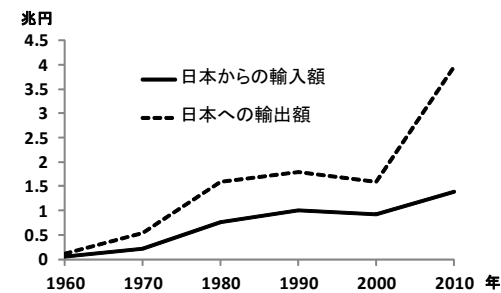
〔「近代国際経済要覧」より作成〕

資料3 オーストラリアと日本の貿易品目とその割合

年	日本からの輸入品 %		日本への輸出品 %	
1960年	綿織物	31.4	羊毛	65.2
	鉄鋼	24.0	銅鉱石	5.7
	機械類	4.6	石炭	5.7
	その他	40.0	その他	23.4
1970年	機械類	23.1	鉄鉱石	28.0
	自動車	11.6	羊毛	18.3
	鉄鋼	11.3	石炭	16.3
	その他	54.0	その他	37.4
1985年	機械類	37.5	石炭	30.3
	自動車	25.3	鉄鉱石	16.5
	自動車部品	7.3	羊毛	5.8
	その他	29.9	その他	47.4
2013年	自動車	45.2	石炭	29.8
	石油製品	18.9	液化天然ガス	27.2
	機械類	15.3	鉄鉱石	19.9
	その他	20.6	その他	23.1

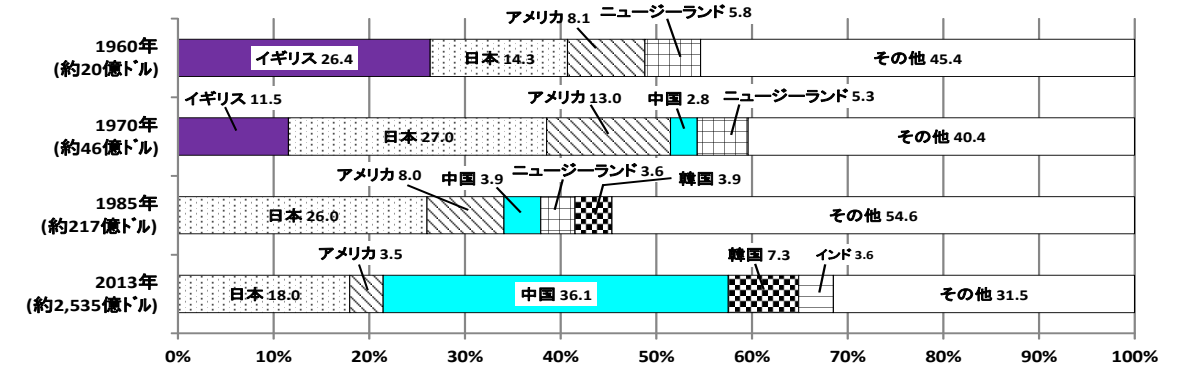
〔「日本国勢図会」より作成〕

資料4 オーストラリアと日本の貿易額の変化



〔「数字でみる日本の100年」より作成〕

資料5 オーストラリアの輸出相手国の変化



※ () は輸出総額 単位：米ドル

〔「国際統計要覧」, 「世界国勢図会」より作成〕

1 花子さんたちは、**略地図**でオーストラリアとイギリスの地図上の位置関係について確かめることにした。キャンベラから見たイギリスの位置を**略地図**のAからDまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。また、キャンベラからイギリスの首都ロンドンまでの距離を次のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 約10,000km イ 約11,000km ウ 約13,000km エ 約17,000km

2 **略年表**の①に関連して、オーストラリアと関係の深いイギリスについて、18世紀後半の政治や経済のようすを調べた。このころのイギリスについて適切に表しているものを次のアからエまでの中から全て選び、記号で答えなさい。

ア 東アジアに進出し、日本と修好通商条約を結んだ。この条約は日本にイギリスの領事裁判権を認めさせ、関税自主権を与えないなど不平等な内容であった。

イ 織機や紡績機が改良され、これらの動力に蒸気機関が使われることで産業革命が起こり、生産の能率が上がったため、製品を大量に生産できるようになった。

ウ 世界各地に進出しようとするドイツと対立するようになり、ドイツが三国同盟を結ぶと、イギリスはフランス・ロシアと三国協商を結んだ。

エ イギリス議会で、北アメリカの植民地に新しく税をかけることを決定し、これに反発した植民地の人々と戦争になった。

3 **略年表**の②について調べてみると、世界恐慌に対してイギリスのとった政策により、イギリスの貿易とオーストラリアの貿易は**資料1**、**資料2**のように変化したことがわかった。その政策によってオーストラリアの貿易はどのように変わったか。イギリスのとった政策名をあげ、説明しなさい。

4 花子さんたちは、**略年表**の③に関連して、日本とオーストラリアの貿易について考えることにした。両国の貿易がどのような関係にあるかを、**資料3**と**資料4**を参考にして「重化学工業」という言葉を使って説明しなさい。

5 花子さんたちは、**資料5**について話し合うなかで、オーストラリアの輸出相手国が時期により変化していることがわかった。なぜこのように変わってきたのか、**略年表**、**略地図**と**資料5**を参考にして説明しなさい。

1

1	
2	
3	
4	
5	() is <i>mottainai</i> . We ().

2

1	
2	
3	
4	
5	フォアキャストの発想
	バックキャストの発想

3

①	ます	②		③		※
④		⑤				

※印の欄には何も記入しないこと

4

1	位置	
	距離	
2		
3		
4		
5		

※

※印の欄には何も記入しないこと

平成 29 年度
滋賀県立草津東高等学校特色選抜総合問題 I
正答例

問題区分		正 答 例									
1	1	She cooks well.									
	2	イ									
	3	They will check how much food they have.									
	4	ウ									
	5	(例) (Using too much electricity) is <i>mottainai</i> . We (should use lights only when there's someone in the room).									
2	1	A									
	2	ウ									
	3	Please tell me about your plan.									
	4	国 際 連 合 で 働 く と い う 具 体 的 な 目 標 を 明 確 に 設 定 す る こ と 。									
	5	フォアキャストの発想	ヒルさんは、15歳の時点で、30歳のとき に通訳になりたいという目標をまず決めて、 そこから逆算し、それぞれの年齢までに自分 が取り組むべきことを計画して、それに従っ て行動し、目標を達成したから。								
3	①	はげ(ます)	②	そうこ	③	かんげい	④	衛星	⑤	勤労	
4	1	位置	A		距離	エ					
	2	イ、エ									
	3	オーストラリアがイギリスのとったブロック経済に加わることで、イギリスへの輸出の割合が増えた。									
	4	高度経済成長期以降、日本で重化学工業が盛んになり、その原料となる鉄鉱石や石炭などをオーストラリアから日本へ運び、日本からは加工した自動車や機械類などの工業製品を輸出することで、両国間の貿易額が伸びてきた。									
	5	イギリスが、ECに加盟するなど、ヨーロッパの国々との結びつきを強めたことで、オーストラリアの輸出相手国に占めるイギリスの割合が減少した。このような状況に対しオーストラリアは、APECの発足を提唱するなど、距離が近い東アジアの国々との経済的な関係を深めてきたことによる。									